

平成20年9月7日

(文部科学省委託事業)

杉戸町総合型スポーツクラブ「すぎスポ」

設立趣意書

設立準備委員長 大島 齋禮

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、スポーツと文化に親しむことが、出来る生涯スポーツ社会を実現するために、文部科学省では、平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」を策定いたしました。

基本計画のひとつに、平成22年度までに、全国の各区市町村に少なくとも一つの「総合型地域スポーツクラブ」を育成することがあります。

この「総合型地域スポーツクラブ」の大きな特色は、多世代の方が参加できること。また、複数の種目が用意されていることから、必然的にスポーツ実施率が向上することは勿論のこと、それに伴い医療費の削減が出来たり、親子や家族、世代間の交流が図られることが期待できます。

杉戸町においても、平成17年12月、この問題に前向きに対処するため、調査研究会が発足いたしました。

その後、(財)日本体育協会、(財)埼玉県体育協会、杉戸町教育委員会等のご支援を戴き、準備委員会に発展し、体験教室等着々と準備を進め、今日に至っています。

当クラブは、地域住民の参加により自主運営されるものであり、今後目標に向かって円滑に運営されるためには、多くの方々の参加が必要となります。

また、すでに活動されている諸団体との連携も大事なことであり、当クラブへのご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

2021年1月4日

初代理事長 大島斎礼

すぎスポ設立に至る経過について

はじめに

私は1996年から2001年まで早稲田大学体操部の監督をしておりました。練習会場は西所沢のキャンパス内にある体育館と高田馬場にある体育館の2か所でしたが、本キャンパスの体育館を建て替える関係で、2年近く所沢まで通いました。所沢の体育館はいくつもありましたが、体操とレスリングが専門の体育館があり、そこで子供たちが運動をしている風景を見ました。子供たちの指導をしている先生は太田先生と言って、ソウルオリンピックのメダリストです。そこで太田先生にどう言う組織でやっているのか聞いてみました。それが総合型地域スポーツクラブだったのでした。

色々と国の助成金が受けられるとの助言を受けました。これがきっかけで、杉戸町でもなんとか総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、町の活性化に役立てて見ようかと思った次第です。その後、杉戸町当局にも文化省から県を通じて各市町村に一つ以上の総合型を設立する様指示がありました。杉戸町では、社会教育課の野中主幹が窓口となり、県では埼玉県体育協会に加藤さんに色々と面倒を見ていただきました。そしてようやく設立準備委員会が発足しました。当初は10人ぐらい参加していただき、月2～3回程度会議を開き、既に発足しているクラブの見学会や会員を募集する方法などを検討しました。苦労したのは既にある、体育協会やスポーツ少年団との関係を壊さず、円満に会員募集することでした。その為に、今まで杉戸に無かった種目のスポーツをもってきて会員を増やすことを始めました。新しい種目だけに他のスポーツ団体に迷惑をかけずにスムーズに会員募集が出来た次第です。

既にあるスポーツクラブを中心に輪を広げる

まず核となるスポーツ種目を決め、それを土台にして順次増やしていく方法をとりました。テニスと体操が核となりました。

テニス（硬式）成人の部

町主催のテニス講習会は、終わると解散してしまう。私も一度参加しましたが、せっかくの仲間が解散するのはもったいないと思い、講習会に参加した仲間に呼びかけテニスクラブを設立しました。このクラブが総合型クラブ第1号です。

テニス（硬式）ジュニアの部

旧埼玉銀行のグラウンドが下高野地区にありました。ここにテニスコートが二面ありましたが、ほとんど使用されていなかったので銀行の本部と交渉して使用許可を戴きました。バブルがはじけ、銀行も大変な時代でしたので、処分するまで使用できると言う条件で無料で貸していただきました。このコートで硬式テニスのジュニア教室を始めたのが初めてです。

体操クラブ

中学の部活は秋の新人戦が終わると、練習時間は16時30分で終了となります。私は教育委員会の委嘱で2000年から杉戸中学の体操競技の指導をしておりますが、16時30分終了ですと体操器具を出すだけで終わりになってしまいました。そこで校長先生と相談し、小学生を練習に参加させ、社会体育として17時から19時までやったら良いのではないかということになりました。まさに小・中一貫教育が実現してわけです。小学生が参加することにより、総合型の土台になりました。

新種目で会員募集をする

ディスクゴルフクラブ

早稲田大学体操部の後輩が私を訪ねてきて、私に埼玉県ディスクゴルフ協会を創たいので、協会の会長になってもらえないか、と言う打診がありました。私は今総合型地域スポーツクラブの立ち上げで忙しくて、代表は無理だけど、杉戸だけのクラブであれば協力する旨伝えました。そのご彼から道具を借り、会員募集をしてスタートを切りました。

スポーツ吹き矢クラブ

新しい種目として幸手市で行われているスポーツ吹き矢が健康に大変良いのと情報を得て、幸手市総合型地域スポーツクラブの理事長栗田さんの紹介を戴き4名の講師を招き、杉戸小学校で4日間の講習会を開きました。最初は道具がないので、細い塩ビ管を使い練習しました。たまたま、講習会参加者の中に、現在監事の中田さんがおられ、経験者でもあり、そのまま代表者としてクラブを立ち上げて戴きました。

フロアーカーリングクラブ

羽生市でフロアーカーリングの全国大会を開くと言う新聞記事を見てさっそく見学に行きました。当時、羽生市のスポーツ復興担当は羽生市体育館内にあり、職員から丁寧に、色々この種目のメリットについて説明を受けることが出来ました。そして羽生市から4名のスポーツ指導員を派遣していただき講習会を開きルールの説明などを受けました。良いことは分かってきましたが、道具が一セット10万円と高価で、クラブとして立ち上げるには予算的に難しい事でした。そこで杉戸町古谷町長にお願いしたところ、担当課を通じ二セット購入の稟議が承認されました。

太極拳クラブ

新種目として太極拳が体に良いと思い指導者を探していると、宮代町に太極拳のクラブがあり、指導者も派遣しているとの情報をえて早速交渉して結果、西公民館で講習会を開くことが出来ました。講習会参加者によりクラブが出来今日まで続いています。

フットサルクラブ

まず最初に考えたことは、サッカークラブはスポーツ少年団に幾つもあるので、低学年向きにフットサルクラブであれば、スポ少に迷惑をかけないと思ったことです。一番苦労したことは指導者を探すことでした。やむを得ず埼玉県体育協会にお願いしコーチを派遣していただきました。初めは鴻巣や熊谷から時間をかけて来ていただくため、やはり無理がありました。鴻巣から来ていただいた方は女性でしたが、フットサルの世界選手権に日本代表として出場した方でしたのでコーチをやめました。その後はスポ少サッカークラブの支援を戴きました。現在は杉戸町サッカークラブの指導を受けております。

写真クラブ

杉戸町には過去に杉戸写友会と杉戸写真同好会の二つがありましたが、何れも会員の高齢化により解散しました。そこで新しく立ち上げたのが今日の写真クラブです。このクラブは女性が多く、10名中5名が県展に入選経験があり、非常にレベルが高いのが自慢です。毎年行われる、杉戸町の生活と観光写真コンテストでは上位を独占しております。